

〇みかはばいけいさう (新稱) (佐竹義輔)

鳥井喜一氏ガ三河國東郷村デ採集サレタうらげこばいけい *Veratrum stamineum* var. *lasiophyllum* NAKAI = 似タ1種デアル。葉ハ細長ク、裏面 = 白色ノ柱狀毛ガ密生シ、花ハ小形デ、瓣片 = 脈ガ多イノデ區別サレル。コレヲ提供サレタ林 彌榮氏ノ話 = ヨルト、生育地ハ低イ所デ、こばいけいとハ生態的 = モ違フト云フコトデアルカラ、或ハ別種トシテ取扱フ方ガヨイカモ知レヌ。今後ノ研究ヲ要スル。

Veratrum stamineum MAXIMOWICZ

var. **micranthum** SATAKE, var. nov.

Laminae foliorum ellipticae, 18–20 mm longae 6–8 cm latae, supra glabrae subtus densius albo-papillosae. Flores parvi, petalis ovatis apice obtusis, basi cuneatis, 5 mm longis 4 mm latis, multi-nervatis.

Hab. Honsyû: prov. Mikawa, Tôgô-mura (K. TORII, May, 1940—type in Herb. Tokyo Sci. Mus.).

〇いぶきせんとさうさう (新稱) (佐竹義輔)

伊吹山ノ西麓 = 産スルせんとさうさうノ1種ハ葉ガ3出又ハ2回3出シ、前者 = 於テハ小葉ハ三角狀廣卵形デ長サ 30–35 mm、幅 30–40 mm デ淺ク或ハ深ク3裂シ、後者 = 於テハ小葉ハ廣楔形デ長サ 13–30 mm、幅 10–20 mm アリ、一見シテせんとさうさうヨリ著シク大形ノ葉ヲ有スルノデ區別ガツク。いぶきせんとさうさうノ新名ヲ與ヘルヨトニシタ。

Chamaele decumbens MAKINO

forma **dilatata** SATAKE et OKUYAMA, f. nov.

Folia ternata, foliolis late triangulari-ovatis 30–35 mm longis 30–40 mm latis, leviter vel profunde 3-lobatis, vel biternata foliolis late cuneatis 13–30 mm longis 10–20 mm latis.

Nom. Jap. Ibuki-sentôsô (nov.).

Hab. Prov. Oomi, in monte Ibuki (SATAKE et OKUYAMA, May 1942).

〇松村先生ノ南方植物ニ對スル新和名 (津山 尚)

松村先生ノ日本産植物ヤ園藝植物ニ對スル和名ノ御命名ハ、先生ガ永ラク東京帝國大學教授ト兼ネテ小石川植物園長ヲシテ居ラレタタメモアツテ莫大ナ量ニナツテキル。今ココニアル東洋學藝雜誌 第 201 號 (明治 31 年 6 月 25 日發行) ヲ開イテ見ルト「琉球臺灣植物雜誌」ナル御論著ガアルガ、コレ等ハ比較的 = 其ノ他 = 比シテ世ノ注意ヲ惹イテキナイモノデアアルマイカト思フ。コノ中ニハ 56 項目 = 互ツテ其ノ地ノ植物 = 關スル簡單ノノートガ含マレテキテ、新檢出ノ植物、和文ノ記載、新和名、琉球及ビ臺灣デノ地方名 (土名) 及ビ其ノ解釋等アリ、ナカナカ興味ガ深イモノデアル。最近日本ノ南進 = ツレテマングローブ = 關スル文ガ多ク印刷サレタガ、ソノ構成分子ノーツデアル *Sonneratia alba* SMITH = 就テハ次ノ様ニ述ベラレテキル。

「八重山、西表島間、仲間ヨリ南風見 = 至ルノ海濱、潮ノ來ル所 = 一種ノ樹類ヲ生ズ。幹

ニ對生ノ葉ハ廣橢圓形ニシテ邊緣無缺、多肉質ニシテ鈍頭、白花ヲ開ク、多雄蓋長ク抽出シテ頗ル美ナリ。花柱長キコト一寸五六分許、多肉ナル萼、鐘狀ニシテ五裂スルノ狀、安石榴^{ゼクロ}ニ彷彿タリ。マヤプシキノ方言アリ、マヤハ猫ノ義ナリ、余ハコレニ濱石榴ノ新名ヲ命ズベシ、學名ヲ *Sonneratia alba*, SMITH トス、Sonneratiaceae 濱石榴科ニ屬ス。印度、爪哇等ノ海濱ニモアリ、余ハ田中節三郎氏ガ明治廿四年六月廿二日採集ノ標品ニ由リテ檢定セリ。」

コノ中マヤノ他ノ部分プシキハ 木村陽二郎氏ニヨツテ干木^{ホシキ}ノ意デアラウト 推定サレタ(採集ト飼育第4卷第4號、第115頁)。即チ泥狀ノ三角洲ヲプシト言ヒブシトホシ(乾ニ干)ハ琉球ノ發音ヲ知ツテキルモノナラ誰デモ相通ズルコトガ判ルカラデアル。唯木村氏ノ說中、タカツク、キイレツクニ關スル點ハ不分明デアル。小生ノ思フニコノツクハツクノキノヅクト何カ方言的ニ關係ノアルモノデハアルマイカ。(小著「マングローブに就いて」史蹟名勝天然記念物第17集第5號參照)。

從來ノ様ニ上記ノ種ノ和名ニマヤぶしきヲ用ヒ、從ツテ科名ニマヤぶしき科ヲ用フルノモ結構デアルガソレガアマリニ古イ琉球語デアルタメニ兎角間違ヒヤスク、現ニ日本植物總覽ノ第一版モヤまぶしきト誤ツテキル程デアル。コウ言フコトカラノ顧慮デアラウ、金平亮三博士ハ南洋群島植物誌(昭和8年)ノ中デおぼばなひるぎト命名サレナホシタ。シカシ既ニコノはまざくろナル和名ガアリ、又コノ名ハ花ノ狀態ヤ又植物ノ類縁關係スラ甚ダヨク現ハシテキルノデアリ、又コノ植物ガ、琉球ヲ北限トスル廣ク南方諸地域ノ分布ヲ有シテキルコトヲ考ヘレバ、コノ様ニ平易ナ名ハ甚ダ妥當ナ名ノ様ニ考ヘラレル。科モ亦松村先生ニ隨ツテはまざくろ科トナル譯デアル。おぼばなひるぎ科ナル名ハ金平博士モ避ケテキラレル所ヲ見ルト、ヤハリ、一科ヲ代表スル和名トシテハアマリニ名トシテノ獨立性ガナイト言フ御顧慮カラカトモ思ハレル。

他ノ植物ニ關スルコトヲ少シク拾ツテ見ルト *Putranjiva Roxburghii* (コレハ今ノ *P. Matsumurac*) = 就テ田代安定氏ノつげもどきニ對シテもちつげヲ命ジ、*Euphorbia pilulifera* = 對シテ田代氏ノしまにしきさうニ對シテおほにしきさうヲ命ゼラレタ。*Phaseolus lunatus* = 就テハ、りうきういんげント命名サレタガコレニハあふひまめ、ごもんまめ等ノ古イ名ガ既ニアツタ。又 *Bougainvillea spectabilis* = いかだかづらト命名サレタノモコノ時デアル。佐々木尙友氏ハ最近コノ植物ヲ詳シク紹介サレタ(採集ト飼育第1卷第6號第339頁—第340頁、昭和14年)ガ、和名ハ何ニヨツタモノカ不明デアルト書イテ居ラレルガ、松村先生ニヨルト「美麗ナル色ヲ呈スル三片ハ總苞ナリ、其苞上眞ノ花ヲ居ス故ニ今之ヲイカダカヅラト名ク、」トアル。*Pisonia aculeata* = ハとりもちかづらト命ゼラレタガ、コレハ果實ガ頗ル粘質ヲ帶ビテキルノニヨツタモノラシク、普通ニ用ヒラレルとげかづらヨリヨイ名ノ様ニ思ハレル。其ノ他色々アルガ略スル。